



【都城市立美術館特別展】

岸田劉生 美の軌跡

Ryusei Kishida: In Pursuit of Beauty

日本近代美術史を代表する画家・岸田劉生。愛娘・麗子を描いたユニークな肖像画で広く知られています。しかし、岸田が油彩画だけでなく、本の装丁画や日本画でも才能を発揮していたことはあまり知られていません。本展では初期から晩年までの作品の変遷をたどりながら、岸田が追い求めた美に迫ります。

◎問い合わせ 市立美術館 ☎25-1447

《童女図(麗子立像)》(部分) 1923年 神奈川県立近代美術館蔵

作品の変遷

岸田劉生は38年という短い生涯の間に、次々と作風を変化させていきました。初期には黒田清輝が創立した白馬会葵橋洋画研究所で、当時主流であった外光派風の絵を学びますが、やがて雑誌『白樺』を通して知ったゴッホやセザンヌに傾倒。

その後、デューラーやファン・エイクなど「クラシックの感化」を受け、時代と逆行する細密な写実描写を追求します。

30歳のころには一転、東洋美術に開眼し、近世初期風俗画や中国の宋元画から見出した露骨でない美しさ「卑近美」という独自の美意識を作品に反映させていきました。

麗子像の魅力

岸田にとって最も身近なモデルが

愛娘の麗子でした。スケッチなども含めると、生涯で70点以上の麗子像を描いたといわれています。一連の麗子像は刻々と変化していく岸田の美学を映す鏡のような存在でした。

本展では、麗子の幼少期の素描や、16歳の麗子を描いた「麗子一六歳之像」のほか、東洋の伝統的な画題に基づく「寒山風麗子像」を展示。

さらに、岸田が「余の肖像画の中で最もすぐれたもの」と評した傑作のひとつ「童女図(麗子立像)」も展示します。

岸田劉生の美学

岸田にとって美しさとは、人間の精神の内側に宿るものであり、この「内なる美」を形として表現することが美術でした。岸田はこの「内なる美」を表すために、写実表現から

東洋の美術に見出した象徴性へとさまざまな表現を模索し続けたのです。

岸田劉生(1891~1929)

東京・銀座生まれ。明治の先覚者である父・吟香の死に伴い中学校を中退し、葵橋の白馬会洋画研究所で学ぶなか白樺派と出会い、生涯にわたり親交を持つ。1912年ヒュウザン会に参加。1915年に草土社を結成し、北方ルネサンスに感化された峻厳な画風で画壇への影響力を持った。1923年の関東大震災を機に京都に移る前後から日本画制作に加え骨董収集に没頭。満州旅行からの帰途、山口県にて38歳で急逝した。



上 段／武者小路実篤『友情』特装本表紙(1920年)
中段左／麗子十六歳之像(1929年)
中段右／寒山風麗子像(1922-23年)
下段左／麗子之像(1918年)
下段右／画人無為(1926年) 描かれている人物が岸田
全て笠間日動美術館蔵

特別展の概要

- 会期 10月24日(土)～12月6日(日)
※月曜日休館(祝日の場合は翌日)
- 開館時間 9時～17時
※入館は16時30分まで。11月20日(金)・21日(土)は20時まで開館(入館は19時30分まで)
- 場所 市立美術館
- 観覧料 一般千円(800円)、高校・大学生500円(300円)、中学生以下無料、フリーパス1300円、ペアチケット1300円(前売りのみ)
※(一)内は、前売りおよび65歳以上、20人以上の団体、17時以降の入館者、市教育委員会文化施設から回遊してきた人の割引料。11月3日(火・文化の日)は無料。11月15日(日・家庭の日)は高校生以下同伴の家族無料。障がい者手帳など(アプリ含む)の保有者およびその介護者無料。前売券の販売は10月23日(金)まで

関連イベント

【担当学芸員によるギャラリートーク(作品解説)】

- 日時 11月1日(日)・28日(土) 14時～15時、20日(金) 18時～19時
- 場所 市立美術館
※本展のチケットが必要

【ワークショップ「岸田劉生の作品をモチーフにした和菓子を作るうー」】

- 日時 11月12日(木) 10時～12時
- 場所 まちなかキッチン
- 講師 宮本智子
- 料金 2千円
- 定員 16人 ※申し込み順
- 申込 10月17日(土)10時30分から電話で市立美術館 ☎25-1447

【記念講演会「岸田劉生の芸術・写実と装飾と文人趣味」(無料)】

- 日時 11月14日(土) 13時30分～15時
- 場所 中央公民館
- 講師 梶岡秀一(京都国立近代美術館学芸課長)
- 定員 50人程度 ※申し込み順

※このほか、美術館通りカフェ「喫茶MOTTO」の出店(会期中3回程度)や子ども向けワークショップの無料配布などを実施予定。詳しくは、特別展特設サイトを確認ください



本展は、一般社団法人自治総合センター(宝くじ)の助成を受けています。

